

東京お茶の水ロータリークラブ



2023-24年度 RI 会長 ゴードン R. マッキナリー
世界に希望を生み出そう
 第 2580 地区ガバナー 栃木 一夫
 ロータリアンの心に火をつけよう

魅力あるクラブにするために
 行動しよう

2023-24年度 クラブ会長 牛島 聡

本日の卓話

ロータリー財団 佐々木 啓策会員

司会進行
 点鐘
 君が代・手に手つないで
 ニコニコボックス報告
 会長報告
 幹事報告
 出席報告

木宮 雅徳会員
 牛島 聡会長
 土居 岩生会員
 木宮 雅徳会員
 牛島 聡会長
 中野 広行副幹事
 木宮 雅徳会員

当初クリスマス家族親睦会でしたが会場の都合で 12 月 25 日(月)に変更になりましたので、12 月 6 日は夜間例会になります。会場につきましては、会長、幹事、角田親睦委員長にて調整していただく予定です。
 ・11 月 4 日(土)神田カレグラランプリにおけるクリーンプロジェクトの件、10 時集合、写真撮影のみで、ポリオ撲滅と協賛している神田カレグラランプリのパネルを本部前に掲示します。皆さんご参加よろしくお願ひします。
 ・8/30(水)納涼家族親睦会の収支報告
 ・10/25(水)～10/27(金)金沢親睦旅行の報告

ゲスト・ビジター

米山奨学生

車 昇妍様

ニコニコボックス

張 会員 本日米山奨学生 車様の卓話を楽しみにしています。
 土居会員 北陸旅行お世話になりました。素晴らしい親睦に成り、西村さんの友人に感謝致します。
 永井会員 車さんの卓話楽しみにしています。
 西村会員 金沢旅行は大変楽しかったです。親睦委員長の角田さん、皆さん、お世話になりました。有難うございました。
 大原会員 卓話楽しみにしています。
 岡田会員 車さん、卓話楽しみにしています。
 角田会員 車さんの卓話、楽しみです。
 山下会員 本日の卓話が楽しみです！！

計 21,000 円 累計 223,000 円

神田カレグラランプリ・クリーンプロジェクトの件 木宮 雅徳会員

11/4(土)～11/5(日)はカレグラランプリ決定戦という、選りすぐりの 20 店舗が小川広場に集結し、投票により優勝者を決めるというイベントを開催します。11/4(土)に皆さんで集まって記念撮影をしようという牛島会長の企画です。襷の本数もありますので、出欠をお知らせください。多数ご参加お待ちしております。

青少年奉仕委員会より 神保青少年奉仕委員長

第 4 回 RYLA セミナー受講生ご推薦のお願いが来ております。このセミナーは青少年を集めて開かれているセミナーになりまして、今年はオリンピック記念青少年総合センターにて 3 泊 4 日で開催されます。お近くにリーダーになる可能性がある方をぜひクラブからご推薦いただきたいとの事ですので、心当たりのある方はお知らせください。

クリスマス家族親睦会の件 角田親睦活動委員長

12 月 6 日の予定でしたが、会場で音響が使えないとの事で、急遽 12 月 25 日クリスマスの日に B1F のシンシアで行うことになりました。皆様、ご家族の方も含めご参加よろしくお願ひいたします。

会長報告 牛島 聡会長

・2024 年 2 月 28 日～29 日、第 2580 地区の地区大会の案内を皆様にお配りしました。出欠締め切りは 11/29(水)までです。皆さん参加いただきますようお願いいたします。
 ・米山奨学生車 昇妍さんに 11 月分の奨学金をお渡します。



幹事報告 中野 広行副幹事

11 月度理事役員会を開催いたしました。
 ・税務署・年金事務所等の届け出の代表者変更の件 松浦久晴元会員→大原正道会員へ変更を承認
 ・制定案の提出に関するクラブ投票の件 協議の結果、多数決により当クラブとして賛成の回答で決定
 ・木宮会員：オンライン会員への契約変更について承認
 ・12/6(水)夜間例会の件

今後の予定

11/15 (水) 帝国ホテル
 千代田 6 クラブ合同例会
 11/22 (水) 休会
 11/29 (水) オンライン例会
 和田 夏彦会員
 イニシエーションスピーチ
 12/6 (水) 夜間例会 会場未定



韓国における日本語教育の位相

米山奨学生 車昇妍さん

米山奨学生の車昇妍(チャスンヨン)でございます。「韓国における日本語教育の位相」というタイトルで韓国における日本語教育の過去と現在と未来の在り方を皆さんにお話ししたいと思います。

私は1980年ソウル生まれ、外国語高校の日本語科を卒業し高麗大学に入学しました。卒業後は教育大学院に入り先生になるための資格証を取りました。2006年に先生になり、2019年から博士課程、大学院に入ってテスト問題の開発、というテーマで勉強を続けてきました。今年はお茶の水女子大学国際教育センター研究協力員、また目白大学韓国語学科非常勤講師として働いています。2019年は城南市で日本語教育研究会会長、2022年は京畿道日本語教育研究会副会長を務めました。

米山奨学生として志願した目標は、1.勉強、研究のための時間確保、2.生き生きとした現場の日本語を伝えられる資料の収集、3.子供たちと一緒に広い世界を経験してみたいという個人的な願いでした。

今までの活動ですが「見学」岡田さんからいいプログラムに誘っていただき友達と一緒にしてきました。そこでは東京の歴史や地理について勉強をすることができました。「執筆」研究に関連する執筆です。来年と再来年に韓国で出版される予定で、翻訳書、執筆した教科書もいっぱいあり、問題集も2冊あります。

「教師研修」韓国人の日本語教師のために研修や講義も行いました。「学校訪問」5月6日は日本の小中学校、高校、大学、文科省を訪問しました。東京学芸大学付属大泉小学校を訪問したときは給食もいただきました。白いご飯ではなくパンが出てくるのが不思議でした。すべての授業をオンラインで行っている高等学校でその授業を体験しました。ここで初めて通訳を務めたけれども、通訳をするには私の実力が足りないことにやっと気づきました。でも先生として、日本の小学校、中学校、また教育関連機関を訪問したのはめずらしくて貴重な経験になりました。7月8日は再来年韓国で使われる日本語の教科書に入る写真や動画を撮影しました。とても暑かったのですが、日本の方誰一人も文句も言わずに協力していただき順調に撮影を終わらせることができました。いい教科書になりそうです。7月には韓国で教えていた教え子が大学の夏休みになって東京に遊びに来ていました。この2人を授業に呼んで、私の学生の18人と一緒に韓国と日本の文化についてお互いに話し合いました。すぐ仲良くなって友達になっていました。学生18人は来年韓国に交換留学で来ることになっています。ソウルで集合する予定になっていて、もう楽しみです。

米山奨学生としてほぼすべての活動に積極的に参加しました。学友会の総会で初めてイヒョンジンさんに出会いました。イヒョンジンさんと出会ってから私の東京の生活は豊かに幸せになりました。8月には筑波で開かれた世界大会に行ってきました。恥ずかしいことに、世界大会に行って、ロータリーとは何か、米山とは何か、を少しわかるようになりました。奉仕活動に参加したり先週は能楽にも行ってきました。米山奨学生だったからこそ活動だと思えます。

韓国の日本語教育ですが、韓国では英語は必修で、日本語、ロシア語、アラビア語、中国語、スペイン語、フランス語、ベトナム語、ドイツ語は選択科目として

勉強しています。すべての学校で、すべての科目が開設されているわけではなく、1つの学校で2、3の科目が開設されており生徒たちはその中で1つを選んで勉強しています。

韓国には大学修学能力試験(修能)があり、第2外国語の試験があります。2020年、2021年は第2外国語の評価が相対評価だったためアラビア語の選択者が多かったのですが、2022年度から絶対評価にしたところ、日本語が一位を安定的に占めています。第2外国語の担当教員数は、50%以上が日本語で2位は中国語です。他の言語は全部合わせても5%未満で少数にとどまっています。

結論的に韓国の外国語教育は、日本語と中国語、大きく2つに分けられているといえます。最近の日本語の先生たちは、生徒たちが多く授業数が多すぎて、どうやって運営すればいいのかについて悩んでいます。2022年は日本語と中国語の先生の比率が一番縮まっている年でした。日本と韓国の関係が私の知っている限り最悪の時に、生徒たちも日本語を勉強しても旅行もいけない、どこにも役に立たない、勉強する動機を失っていました。これが4年前~2年前のことです。今また政権が変わり雰囲気も変わってきました。日本語選択して勉強している韓国人は、日本語が楽しそうだから、身近な国で言語が親密だから、アニメやゲームなどの大衆文化が好きだから日本語を勉強しているそうです。雰囲気が変わるのが速すぎて、喜んでいてもいいのかそれもまた心配です。今こそが、国際関係とか雰囲気に揺れないような言語教育の必然性を確保しなくてはいけない時期とも思います。

皆様は多くの知識や経験をもっていらっしゃると思います。私たち教員は学校という小さな狭い世界しか知りません。アドバイスやアイデアがありましたらぜひひと言お願いしたいと思います。

また私は婉曲な表現や、本音と建前をどう区別すればいいのかまだわかりません。本音と建前を生徒たちに教えるときもどうやって扱えばいいのか、例えば誉め言葉をそのまま受け入れてもいいのか、一度疑って他の意味があるのではないかと考えさせるべきか今でもわかりません。私にはまだ言語文化的ないろいろな課題が残っています。

日本と韓国、韓国と日本の若者たちがお互い個人的な交流を続けていくときこそ両国の明るい未来があると小さな希望を抱いています。それで、そのとき使われる出会いとか、交流に使われる言語や文化について教育に支援していくのが私の仕事だと思います。こういう仕事にもっとがんばっていきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

